

プログラム

1)基調講演 12:30 - 13:30

「臨床におけるKJ法の活用」

講師：清水 安子 先生（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 看護実践開発科学講座 教授）

2)シンポジウム 13:40 - 14:50

「研究法の新たな試み -言語データの取り扱い-」

コーディネーター：鈴木 宏（新潟青陵大学看護学科教授）

シンポジスト：海老田 大五郎（新潟青陵大学福祉心理学科助教）

齋藤 まさ子（新潟青陵大学看護学科准教授）

横谷 謙次（新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科助教）

3)総会 15:00 - 15:25

4)ポスターセッション 15:30 - 17:00

ポスターセッション演題

I グループ

A-1. 地域活性化に関する学生及び住民ニーズの分析

－白山駅～白山浦（白山市場）～学校町通り周辺の学生および住民調査から－

○李在憶、平川毅彦（新潟青陵大学）

A-2. 介護保険制度における要介護者のサービス選択について

－身元保証人不在者や低所得者の施設利用の問題点－

○阿部裕昭（介護老人保健施設「入舟」）、押木泉（地域福祉団体「くらしかた・ねっと」）

B-1. 日本の外国人看護師候補者受け入れ制度に対する看護学生の受け止め

○伊藤まりな（済生会新潟第二病院）、中村悦子（新潟青陵大学）

B-2. 看護学生の災害ボランティア活動の実態

○金子奈緒子（済生会新潟第二病院）、中村悦子（新潟青陵大学）

B-3. 卒業前教育プログラムにおける看護技術の習得

○柄澤清美、和田由紀子、清水理恵、小島さやか、倉井佳子、菅原真優美（新潟青陵大学）

B-4. 看護学生が陥りやすいコミュニケーションの躓き

○松園彩香（済生会新潟第二病院）、柄澤清美（新潟青陵大学）

B-5. 初年次教育におけるキャリア教育に対するKJ法を用いた参加型授業の試み

○齋藤智、鈴木宏（新潟青陵大学）

II グループ

C-1. 心臓リハビリテーションを受けた患者の日常生活の実態

○太田さとみ（新潟市民病院）

C-2. おむつの選択と当て方に対する看護師の受けた教育別による行動変化

○花野美奈子、山崎久江、小林真由美、佐久間あゆ美（新潟県立坂町病院）

C-3. 熟練看護師によるターミナルケアの実際 -KJ法による問題点と解決方法の検討-

○矢代亜希子、柳佐和子、古川原倫子（新潟県済生会三条病院）、清水理恵、倉井佳子、金子史代、鈴木宏（新潟青陵大学）

C-4. 二次的外傷性ストレスの年代別分析 – A県内の病院に勤務する看護職者について–

○和田由紀子（新潟青陵大学）

C-5. ひきこもりの子どもをもつ母親の「親の会」での体験

–価値観の転換の必要性を認識するまでのプロセス–

○斎藤まさ子（新潟青陵大学）、本間恵美子（新潟青陵大学大学院）、真壁あさみ、内藤守（新潟青陵大学）

C-6. デスカンファレンスによる終末期看護に対する看護師の行動の変化

○牧野あゆみ（新潟市民病院）、本間昭子（新潟青陵大学）

C-7. 転倒転落事故のカンファレンスにおける看護師のアセスメント傾向

○関しおり（新潟市民病院）、菅原真優美（新潟青陵大学）